



CASBEE建築(新築)2021年版 対応

欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要										
建物名称				平和食品工業 御殿場工場		BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度										
重点項目		得点※/満点		取組み度				評価		
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)		3.1	/5					ふつつ		
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)		3.0	/5					ふつつ		
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)		2.1	/5					がんばろう		
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)		2.9	/5					がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)				評価 凡例	よい 4 点以上		ふつつ 3 点以上		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要												
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						内訳対応項目						
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)						得点		3.1				
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④屋外露出ダクトおよび工場内矩形ダクトについてステンレス製とし、給排水配管材料についても更新間隔が長くなるように腐食しにくい材料を選定した ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内の緑化率を28%確保した ⑥敷地内空地率を80%以上確保し、敷地外周に緑地を配置する計画とした ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦建物外皮について熱伝導率が低い断熱材を採用した ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器を採用した ⑫鉄骨造を採用し、躯体と内装材等の分離を容易にした ⑬断熱材はODP＝0、GWP＝3のノンフロン断熱材を採用した ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮大気汚染防止法および条例で定められた排出基準以下とした					Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
						Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備	
								3.2	3.2.1	③	屋光制御	
						Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
								2.2.2		④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
								2.2.3		④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
								2.2.4		④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
								2.2.5		④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
								2.2.6		④	主要設備機器の更新必要間隔	
						Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
	3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上							
	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制						
		2			⑧	自然エネルギー利用						
		3			⑨	設備システムの高効率化						
		4	4.1		⑩	モニタリング						
			4.2		⑩	運用管理体制						
	LR-2	1	1.1		⑪	節水						
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無						
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無						
		2	2.1		⑫	材料使用量の削減						
			2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用						
			2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用						
			2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						
			2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材						
			2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み						
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用						
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤						
				3.2.2	⑬	断熱材						
				3.2.3	⑬	冷媒						
	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮						
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善						
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)						得点		3.0				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法で定められた耐震性を有する ⑰節水型便器を採用 ⑰井水を利用している					Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
									2.1.2	⑯	免震・制振性能	
								2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
								2.4.2		⑰	給排水・衛生設備	
								2.4.3		⑰	電気設備	
								2.4.4		⑰	機械・配管支持方法	
								2.4.5		⑰	通信・情報設備	
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)						得点		2.1				
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高を1F3.6m、2～5F 3.9m確保している ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑外周部のフェンスを見通しの良いメッシュフェンスとしている					Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
									3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
										3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
						Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)						得点		2.9				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内の緑化率を28%確保した ⑥敷地内空地率を80%以上確保し、敷地外周に緑地を配置する計画とした ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮適切な駐車台数の確保と配送車両の待機スペース確保を行い、出入口を分けて周辺道路への影響を少くした					Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
							2			②	まちなみ景観への配慮	
							3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
						LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
						LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	

CASBEE静岡(2021年版)v1.03

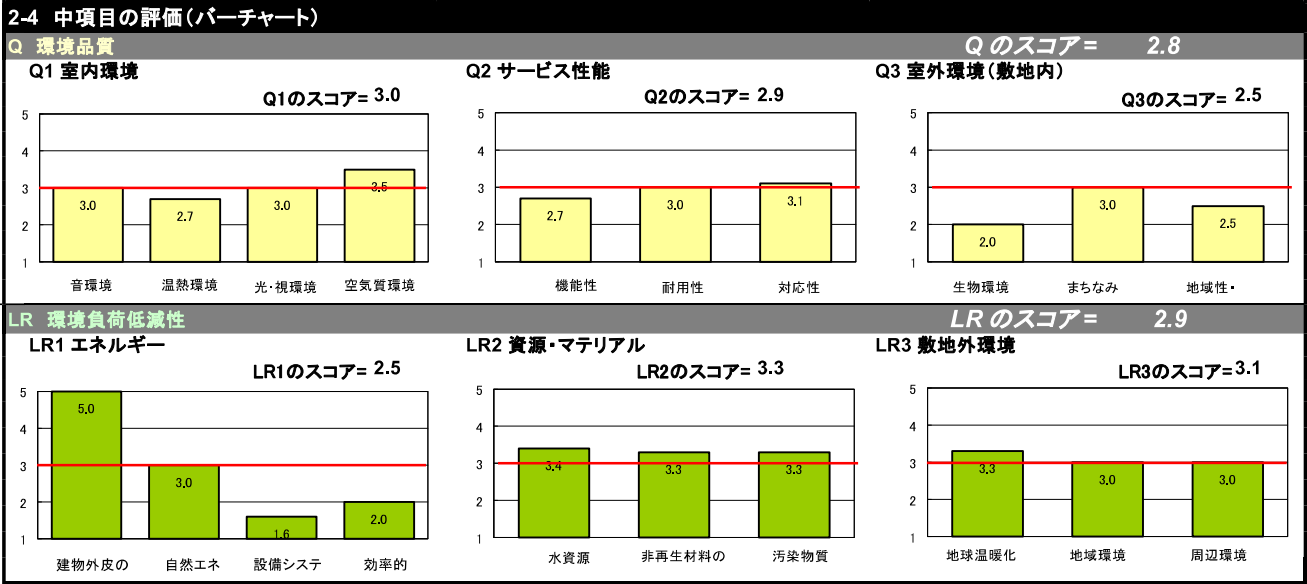
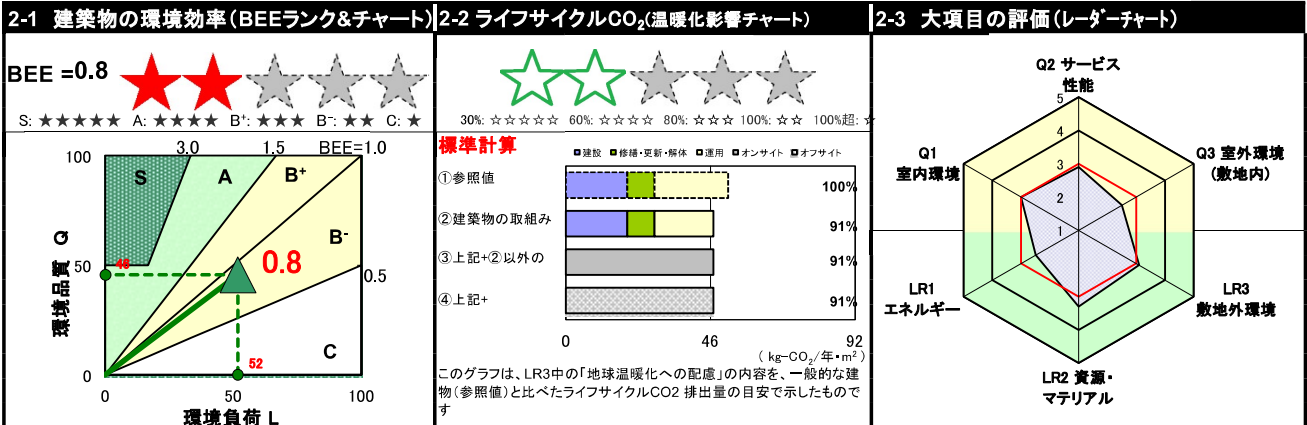
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 適用版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)平和食品工業株式会社 御殿	階数	地上5F		
建設地	静岡県御殿場市保土沢字大石1261	構造	S造		
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年11月20日		
敷地面積	20,363 m ²	作成者	塩谷真里		
建築面積	3,559 m ²	確認日			
延床面積	7,435 m ²	確認者			



3 設計上の配慮事項			その他
総合 室内環境について、採光や換気量、天井高を確保し快適な環境となるよう配慮した。 節水器具や環境にやさしい建材を使用することで環境負荷の低減に配慮した。 「これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です」			
Q1 室内環境 事務室用途部分について、十分な照度を得られるよう照明器具を配置した。 また、化学汚染物質の放散量が少ない建材を積極的に採用し、換気量も十分確保できるよう計画した。	Q2 サービス性能 執務スペースを十分確保したうえで、大きな窓を配置し開放感が得られるよう計画した。 給排水管については、耐用年数が高いものを採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 御殿場市の開発及び土地利用の基準により25%を超える緑地面積を確保し、敷地外周面に配置した	
LR1 エネルギー 事務所エリアの断熱材を熱伝導率が低い素材を採用し外皮熱負荷の抑制をおこなった	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造を採用し改修時の躯体と仕上の分離を容易にし、断熱材についてはスタイロフォームを採用しODP=0・低GWPの断熱材とした	LR3 敷地外環境 敷地内には社員用の駐輪場、駐車場を十分確保した。 ゴミの分別および回収を推進するために工場内にゴミ処理室を設け、別棟で廃棄物保管庫を設置した	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

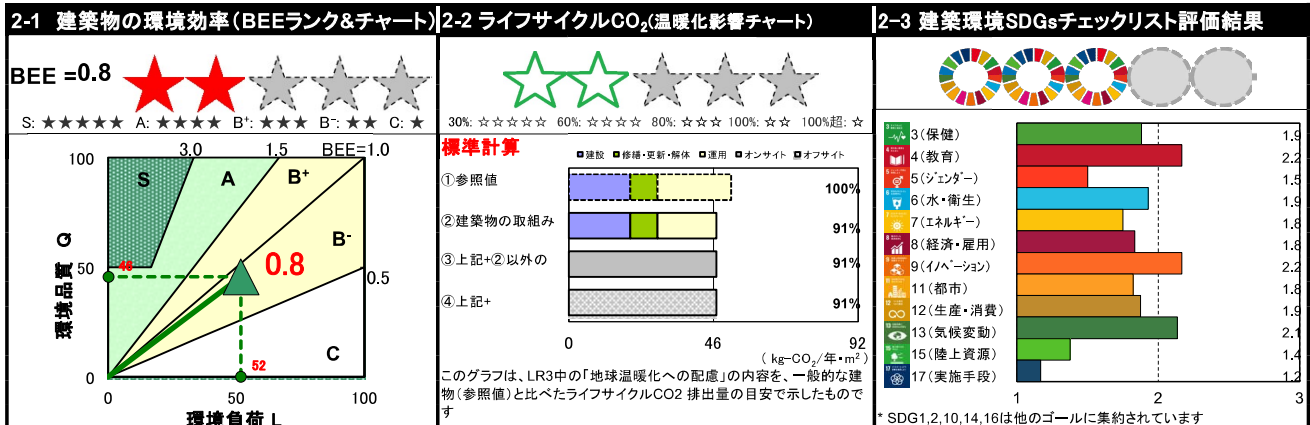
CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

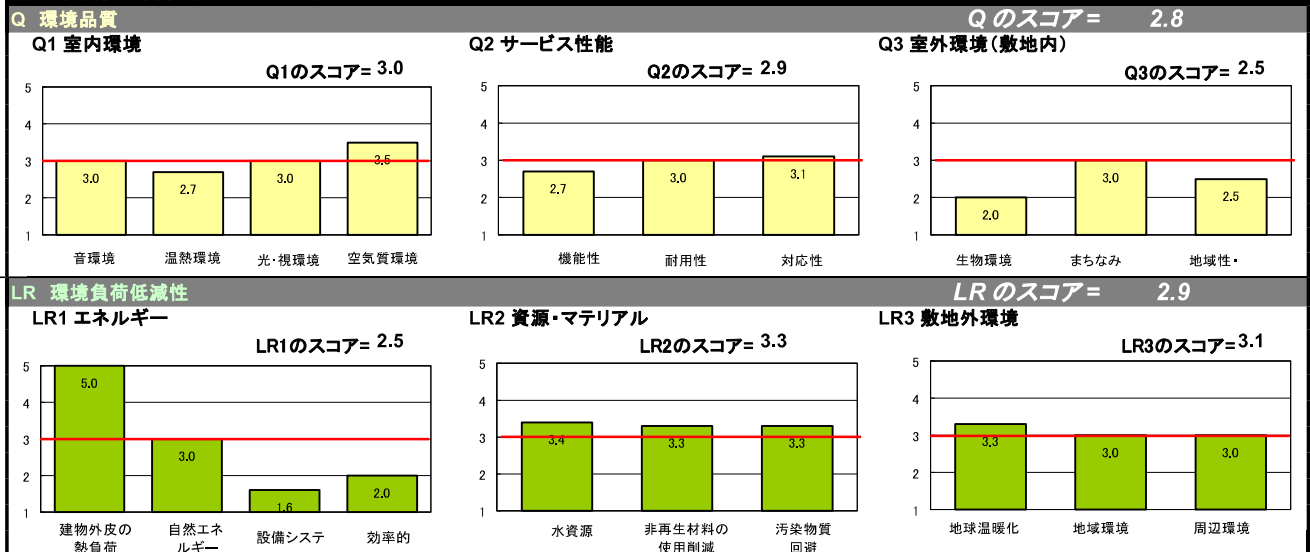
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 適用版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)平和食品工業株式会社 御殿	階数	地上5F		
建設地	静岡県御殿場市保土沢字大石1261	構造	S造		
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	40 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年11月20日		
敷地面積	20,363 m ²	作成者	塩谷真里		
建築面積	3,559 m ²	確認日			
延床面積	7,435 m ²	確認者			



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
室内環境について、採光や換気量、天井高を確保し快適な環境となるよう配慮した。 節水器具や環境にやさしい建材を使用することで環境負荷の低減に配慮した。			
「これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です」			
Q1 室内環境 事務室用途部分について、十分な照度を得られるよう照明器具を配置した。 また、化学汚染物質の放散量が少ない建材を積極的に採用し、換気量も十分確保できるよう計画した。	Q2 サービス性能 執務スペースを十分確保したうえで、大きな窓を配置し開放感が得られるよう計画した。 給排水管については、耐用年数が高いものを採用した。	Q3 室外環境(敷地内) 御殿場市の開発及び土地利用の基準により25%を超える緑地面積を確保し、敷地外周面に配置した	
LR1 エネルギー 事務所エリアの断熱材を熱伝導率が低い素材を採用し外皮熱負荷の抑制をおこなった	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造を採用し改修時の躯体と仕上の分離を容易にし、断熱材についてはスタイロフォームを採用しODP=0・低GWPの断熱材とした	LR3 敷地外環境 敷地内には社員用の駐輪場、駐車場を十分確保した。 ゴミの分別および回収を推進するために工場内にゴミ処理室を設け、別棟で廃棄物保管庫を設置した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される